

消費者

クリーニングのトラブル

「利用者が気を付けること」

おしゃれ着、スーツなど自宅での洗濯が難しい衣類は、クリーニングを利用するかたも多いと思います。便利なサービスですが、「縮んでしまった」「変色した」「預ける前になかった染みができている」などトラブルの相談が寄せられることも。クリーニングを利用するときは次のことに気を付けましょう。

【預ける前に】
染みや破れ、ほつれがないか衣類の状態をチェック。また、特殊なボタンなど替えの利かない装飾品は外しておきましょう。

【預けるとき】
預ける前の衣類の状態、染みの原因やどんな処理をしてほしいかをしっかり伝えましょう。料金の確認と預り証の受け取りも忘れずに。

【受け取るとき】

お店の人と一緒に、預けたものが全部そろっているか、縮みや変色、元々なかった染みや破れなどないか確認しましょう。



時間が経つとトラブルの原因の特定が難しくなるので、確認はその場で行い、異常が見つかった場合はすぐにお店に伝えましょう。

【持ち帰ったら】

保管するときは、ビニールのカバーは外しましょう。カバーを掛けたまま保管すると、変色やカビの原因になる場合があります。

保管の仕方によるトラブルはお客様側に対応を求めることはできません。

◆クリーニング事故賠償基準

クリーニングが原因で変色などの事故が発生した場合は、「クリーニング事故賠償基準」を参考に賠償額などの交渉をすることになります。

ただし、引き取り後6カ月を経過すると賠償を求めることは難しくなるので、クリーニング後、長期間保管する場合は気を付けましょう。

* * *

消費者センターでは、市内・県内で発生した消費者トラブルをホームページでお知らせしています。併せて、ご覧ください。



■問い合わせ

消費者センター(☎829・1234)